

コロナ救急搬送に 35 時間超の衝撃…第 7 波で深刻な病床逼迫も、岸田首相まるで眼中なし

2022 年 8 月 12 日 日刊ゲンダイ



救急搬送に35時間47分、コロナ病床はなかなか見つからない… (C) 日刊ゲンダイ

過去にない病床逼迫が起きているのか——。東京消防庁は 10 日、新型コロナウイルスの第 7 波で陽性者の救急搬送に 35 時間 47 分かかる事案があったと発表した。第 5 波（2021 年夏）の 23 時間 35 分を大幅に上回る過去最長記録だ。

救急搬送された 70 代男性は屋外を歩行中に転倒し、

右の太ももを負傷。入院前の PCR 検査で陽性が判明したため、コロナ患者を受け入れている転院先を探したが、なかなか見つからず、搬送までに 35 時間超を要した。

全国的にも「救急搬送困難事案」は 1~7 日の 1 週間で 6589 件と 2 週連続、過去最多を更新。コロナ疑いのケースも、これまでで最も多い 2873 件に上った。

「これまで以上にコロナ病床が逼迫しているということでしょう。この先、必要な医療が受けられず亡くなるケースが増え、死者数の激増を招きかねません」（西武学園医学技術専門学校東京校校長の中原英臣氏=感染症学）

厚労省アドバイザリーボードの脇田座長は 10 日、「死亡者は第 6 波のピークに近いレベルまで急上昇しており、今後、死亡者はさらに増加することが懸念される」と警戒感を示した。

■ 9 月頃まで死者数は増加傾向

死者数は連日 200 人超え。WHO（世界保健機関）によると、1~7 日までの日本の死者数は 1002 人で、世界で 4 番目に多い。死者は感染者数から遅れて増える。9 月ごろまでは死者数の増加傾向が続く可能性が高い。

「今さら病床を大幅に増やすのは難しい。重症化リスクの高い患者は宿泊施設などで、医療スタッフの目が行き届くようにするなど、できることはいくらでもある。ところが、岸田首相は危機感がないのか、何も手を打とうとしていません」（中原英臣氏）

10 日の会見で岸田首相は「少しずつ感染者数が減少に転ずる地域が出てきている」と強調。救急搬送が困難な現実は眼中にないのか。第 6 波では 1 万 2000 人超が亡くなった。悲劇を繰り返してはならない。